

多様性を活かし、活気と魅力のある東弁を！

—「若い世代が信頼し、参加したくなる弁護士会」を目指して—

東京弁護士会会長 伊井 和彦

東京弁護士会は、極めて多種多様な人権擁護活動や公益活動が各委員会で行われており、それが東京弁護士会の魅力でもあります。

そして、これからも、多くの後輩の皆さんに、自分たちの新しい価値観の下で、積極的に東京弁護士会の会務活動を担って行って貰いたいと思っています。

東京弁護士会でも60期台以降の世代が過半数を超え、年齢や性別（LGBTQも含む）のみならず、業務内容や生活環境、経済状況等の違いから、会員の中に多様な価値観や考え方が増えています。

そして、「参加しにくい」「意見を言いづらい」「意見を述べても反映されない」等の理由から、弁護士会の存在に大きな価値を感じず、弁護士会と距離を置く人たちも、特に若い世代に増えてきているように感じています。

私は、そのような人たちも含めて、弁護士会内の多様性を積極的に活かし、「若い世代が信頼して参加したくなる弁護士会」に東京弁護士会を改革していく必要があると思います。そのための土台作りを、この1年間、行っていききたいと思います。

1 WEBの活用により、参加しやすく、積極的に意思表示ができる東弁に！

産休や育休、親族の介護、会社勤務等で、時間的にも場所的にも、弁護士会の活動や意思決定に参加したくてもできない人たちがいます。

他方、私たちは、コロナ禍の中で、WEBを活用することで、場所や時間に捕らわれずに会議をしたり意見表明をすることができることを知りました。

このツールをもっと活用し、委員会活動のみならず、常議員会、ひいては東弁総会においても、WEB

で参加し意見表明できる制度への改革を目指します。また、WEBを使うことで、若い世代が新たな提案をしやすいシステムも構築していきます。

2 若手会員が魅力を感じ、誇りを持てる東弁に！

若手会員が、自信を持って将来設計をし、心の余裕をもって弁護士会活動もできるように、(1)ブラック事務所対策、(2)事務所や弁護士会内におけるセクハラ・パワハラ対策、(3)非弁提携からの救済対策、等の諸施策を実施します。

また、若手会員の活躍の場を広げるために、①「中小企業法律支援センターの相談コンシェルジュ制度」等の東弁独自の取組を活用・拡大していく、②22もある法律研究部の広報を強化し、若手会員が積極的に参加し利用できるようにする、③弁護士会の法律相談を各担当者の事務所やWEBで行える制度の構築、等を検討していきます。

3 多様な意見を尊重しながら、連帯して活動していける東弁に！

価値観や考え方が多様化している現状において、重要な人権や司法制度に関わる問題について会員間の意見が大きく分かれる場合は、多様な意見を尊重し、十分な時間をかけ、WEB等を利用して配慮や工夫をしながら、徹底した議論を行います。

その上で、人権侵害や違法状態を招くリスクが高いと多くの会員から判断された立法や制度の問題・社会事象については、あくまで法律家の観点から、会の決議という形で、毅然と対応していきます。

ただし少数意見に対しても、できる限りその趣旨を活かすフォローをしていきます。

2022年度の役員に

誌上インタビューを行いました。

1年間よろしくお願いいたします。

質問

- ① 一番関心のあることは何ですか？
- ② 一番大切にしていることは何ですか？
- ③ 長所・短所、趣味は何ですか？
- ④ 座右の銘は何ですか？

新しい時代への「架け橋」に

会長 伊井 和彦 (37期)



- ① 新しい時代に向けて、多様な生活状況や仕事環境、価値観や考え方をお互いに尊重しながら、特に若い世代の人たちに、積極的に弁護士会の会務活動に参加してもらうことです。
私たちが議論をしながらも連帯して活動していくことが、市民の「個人の尊厳」を尊重し守っていくことにつながっていると思います。
- ② 自分の感覚を信じ、しかし常にそれで良い

か問い続けることです。

- ③ 長所は、どんな時でも「何とかなる」と前向きに考えること。
短所は、時々何ともならなくなって後悔すること。
趣味は、古い映画や特撮作品のDVD・BD収集。
- ④ 座右の銘ではありませんが、好きな言葉は「個人の尊厳」です。

互いを尊重し、ともに進んでいきましょう

副会長 寺町 東子 (46期)



- ① 多様な弁護士が多様に活躍できるためのインフラ整備とハラスメント対策。
弁護士も職員も一人ひとりがお互いを尊重し、安心して働くことができる東京弁護士会であれるよう、微力を尽くしていきたいと思っています。
- ② 誠実であること。公正であること。自分に恥じない行いをする。
- ③ 長所は、前向きで朗らかなところ、忘れっ

ぱいところ。嫌な感情は寝たらだいたい忘れます。課題を見つけたら改善したいです。

短所も忘れっぽいところです。メモしなかったことはだいたい忘れます。

趣味は、社会運動です。政策提言・世論形成・ロビー活動などするアクティビストです。弁護士法1条2項が好きです。

- ④ 虚心坦懐。ありのままを受け容れる。笑門来福。

「イケてる東弁」を目指したい！

副会長 加納 小百合 (47期)



- ① 当会の持つポテンシャルを見える化して、「東弁ってイケてる」と再認識してもらいたいです。コストのかかっているものは、コストを意識したうえで、フル活用すべきです。また、いろいろな制度を改善して、無駄を省き、流れをよくしたいです。
- ② 人よりちょっとだけ長持ちする忍耐と仕事への執着。
もう無理と思った時は、明日の自分、1週

間後の自分、1か月後の自分、1年後の自分、どのあたりなら解決して笑っていられるか考えて「もうひと踏ん張り」で乗り切ってます。

- ③ 長所 細かなことを気にしないこと
短所 大雑把に話を丸めがちなこと
趣味 漫画と、教養系・お笑い系の番組視聴（教養にあふれつつ、MCに振られたら間髪入れずに突っ込める人間になりたい）
- ④ 「人生、何とかなる！」（自作）

弁護士会の魅力をアピールしたい

副会長 市川 尚 (48 期)



- ① 若い世代の人たちが弁護士という職業にどれだけ関心を持っているか、どれだけ憧れを抱いているかということです。
- ② 弱者に寄り添う気持ち。相手がだれであれ、ひとりひとりの人格を尊重すること。
- ③ 長所＝正直者である！そして、健康。もうひとつ、「高齢者に好かれる」。自分も高齢者

の仲間入りをしているが…。

短所＝臆病者である。そのわりに見栄っ張り。だからかどうか…ものごとを頼まれると断れない。

趣味は俳句、美術鑑賞、観劇です。

- ④ 「遠慮」 深謀遠慮の遠慮でもあります。

コロナ禍の収束を見据えて

副会長 河井 匡秀 (49 期)



- ① コロナ禍が長く続いています、近い将来に必ず収束すると思います。しかし、おそらく社会がコロナ禍前の状態に戻ることはなく、その中で弁護士会はどうあるべきかについて大きな関心があります。また、憲法改正の動きが活発化しており、その動向についても注視していきたいと思っています。
- ② 常に物事の優先順位を考えて行動すること、現実と願望を混同しないようにすること、

を心がけています。

- ③ 長所は、明るいこと、要領がいいこと、追い込まれると力を発揮することです。

短所は、深く考えないこと、追い込まれないと何もしないことです。

趣味は、囲碁（アマ3段）、将棋（アマ4段）です。最近の将棋ブームはうれしい限りです。

- ④ 不撓不屈 九転十起（母校の高校の校訓）

明日につながる東弁を！

副会長 吉田 修 (50 期)



- ① 区の青少年委員として小学生から大学生くらいまでの若者のリーダーシップ養成活動をしており、それかと思っています。
- ② 心に余裕があるか確かめるために、芸術を楽しむことを忘れないようにしています。好きな浮世絵、特に「写楽」の絵とかを見ると、心に弾みが戻るような気がします。
- ③ ここ一番の集中力が長所ですが、それが

長続きしないのが短所です。

趣味は、船釣りで、東京湾でタイとかワラサを釣っています。芸術鑑賞も好きです。浮世絵の他にもクラシック音楽をよく聞きます（ただし、詳しくはない）。

- ④ 「大きく目を開いてこの世の中を見ろ」

人生短いですが、その中で色々なことにチャレンジしたいと思います。

これからの東京弁護士会をつくろう

副会長 奥 国範 (54 期)



- ① 会員のみなさんが弁護士・弁護士会のあり方についてどのように考えているのか。百人百様の「弁護士・弁護士会」を大切にしながら、コンセンサスが得られるポイントを探して行きたいと思っています。
- ② 好奇心・探求心・チャレンジ精神
- ③ （長所・短所）細かいことまでよく覚えているけど、結局、大雑把でこだわらないところ／大雑把でこだわっていないのに、細かいことまでよく覚えているところ

（趣味）会食・ゴルフ

- ④ 「Human beings are temporal beings（人間は時間的な存在である）」

ドイツの哲学者Martin Heideggerの言葉。正しい解釈ではないかもしれませんが、人は時間を意識して生きることができ一方で有限の時間軸の中でしか生きられない存在なので、その時、その時を大切に生きたいと思います。いつでもどこでも眠れるショートスリーパーです。

よろしくお願いします！

監事 鈴木 剛 (53期)



- ① 「格差と断絶の問題」です。多様化する社会の中で、他人の立場や考えをどうやって尊重していくかが重要なテーマだと思っています。弁護士会では、財務についてわかりやすい情報発信を心がけ、会内議論の活性化に寄与したいと思います。
- ② 「普通が大切」だと思います。一見先の答えと矛盾しているようにも見えますが、他人に合わせるということではなく、物事に自然な

気持ちで向き合いたいと心がけています。

- ③ 長所 自分ではおおらかな性格だと思っています。短所 ビビリです。その他にも色々あります。

趣味 「チャリ通」(自転車通勤)です。特に桜の季節が好きです。

- ④ 「助からないと思っていても 助かって居る」です。ビビリなので、自分に言い聞かせています。

弁護士会は人が集まってできています

監事 西川 一八 (54期)



- ① 「人」でしょうか。皆様には、弁護士会、あるいは弁護士に、どのような人がいるのか、興味を持っていただければ幸いです。私個人としては、弁護士会の収支の適正をチェックする役目になりますが、どのような人が、どのような活動をしているのかに関心があります。
- ② 人と接点を持つときには、説明とか納得感とか、意思の疎通が大切だと思います。ただ、

私がきちんとできるのかというと、それはまた別のことです。

- ③ 長所は、温厚、慎重で辛抱強いところ、短所は、考え込むと初動が遅いこと。

趣味は、読書。移動時間はほぼなにがしか読んでいます。

- ④ 「なるようになる」 やるべきことをやった後は、悩んでも仕方がないので、このように考えることにしています。